

伊 財 財 経 第 5 号
令和6年5月17日

伊丹市行財政審議会
会長 様

伊丹市長 藤原 保幸

行財政運営のあり方について（諮問）

これからの自治体運営においては、少子高齢化に伴う税収の減少や社会保障費の増大のみならず、賃金・物価・金利等の上昇に対応しつつ成長力を拡大させ、持続可能性を確保する必要があることから、これまでの経験では対応できない困難な状況に新たな視点を取り入れ、変化に柔軟に対応することが求められています。

このような状況を踏まえ、本市では、将来の収支状況を展望し、持続可能な行財政運営のあり方を規定する新たな「伊丹市行財政プラン」を策定することとしていることから、下記のとおり諮問いたします。

記

諮問事項 「行財政運営のあり方について」

以上